

参考資料 3-⑦
令和 5 年度第 1 回
沖縄総合事務局
開発建設部
事業評価監視委員会

再評価結果（原案）

○一般国道 329 号 西原バイパス

沖縄総合事務局開発建設部

(事業再評価)

一般国道329号 西原バイパス

令和5年12月
内閣府 沖縄総合事務局

(再評価)

様式1 客観的評価指標による事業採択の前提条件、事業の効果や必要性の確認の状況

事業名	一般国道329号 西原バイパス
事業主体	沖縄総合事務局

●事業採択の前提条件を確認するための指標

		指標	指標チェックの指標
前提条件	事業の効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 便益が費用を上回っている	全 体：費用便益比 (B/C) = 5.8 (経済的純現在価値 (B-C) = 628億円、経済的内部収益率 (EIRR) = 19.9%) 残事業：費用便益比 (B/C) = 6.0 (経済的純現在価値 (B-C) = 634億円、経済的内部収益率 (EIRR) = 21.2%)

●事業の効果や必要性を評価するための指標

政策目標	指標 (対象となる指標のみ記載。効果が確認されるものは□を■に変更)	指標チェックの根拠
1. 活力 円滑なモビリティの確保	<input checked="" type="checkbox"/> 現道等の年間渋滞損失時間 (人・時間) 及び削減率	当該区間及び並行区間について：国道329号 ・当該区間の渋滞損失時間：整備なし96.4万人・時間/年、整備あり3.4万人・時間/年 ・当該区間の渋滞削減削減率：96%削減
	<input type="checkbox"/> 現道等における混雑時旅行速度が20km/h未満である区間の旅行速度の改善が期待される	
	<input type="checkbox"/> 現道又は並行区間等における路切交通遮断量が10,000台/日以上の踏切道の除却もしくは交通改善が期待される	
	<input checked="" type="checkbox"/> 現道等に、当該路線の整備により利便性の向上が期待できるバス路線が存在する	国道329号を利用する既存バスルートの定時性の確保が期待される。 ⇒東陽バス、沖縄バスが運行 計115便/日 (平日) 【国道329号 (小那覇バス停) 系統数：4系統】
	<input type="checkbox"/> 新幹線駅もしくは特急停車駅へのアクセス向上が見込まれる	
	<input checked="" type="checkbox"/> 第一種空港、第二種空港、第三種空港もしくは共用飛行場へのアクセス向上が見込まれる	那覇空港(第二種空港)と小那覇工業団地の間の旅行時間(混雑時) ・現況 (国道329号) : 約48分 ・将来 (完成供用) : 約37分【約11分短縮】
	<input checked="" type="checkbox"/> 重要港湾もしくは特定重要港湾へのアクセス向上が見込まれる	中城港湾(重要港湾)と小那覇工業団地の間の旅行時間(混雑時) ・現況 (国道329号) : 約34分 ・将来 (完成供用) : 約31分【約3分短縮】
	<input type="checkbox"/> 農林水産業を主体とする地域において農林水産品の流通の利便性が向上	
	<input type="checkbox"/> 現道等における、総重量25tの車両もしくはISO規格背高海上コンテナ輸送車が通行できない区間を解消する	
	<input type="checkbox"/> 都市再生プロジェクトを支援する事業である	
物流効率化の支援	<input checked="" type="checkbox"/> 広域道路整備基本計画に位置づけのある環状道路を形成する	沖縄県の広域道路マスタープランにおいて、那覇都市圏における2環状7放射道路として位置付けられている。
	<input checked="" type="checkbox"/> 市街地再開発、区画整理等の沿道まちづくりとの連携あり	沖縄県、西原町、与那原町が協働して推進している「中城港湾マリンタウンプロジェクト」を支援する。
	<input type="checkbox"/> 中心市街地内で行う事業である	
	<input type="checkbox"/> 幹線都市計画道路網密度が1.5km/km ² 以下である市街地内での事業である	
	<input type="checkbox"/> D1D区域内の都市計画道路整備であり、市街地の都市計画道路網密度が向上する	
	<input type="checkbox"/> 対象区間が現在連絡道路がない住宅宅地開発(300戸以上又は16ha以上、大都市においては100戸以上又は5ha以上)への連絡道路となる	

1. 活力	国土・地域 ネットワーク の構築	<input type="checkbox"/> 高速自動車国道と並行する自道（A'路線）としての位置づけ有り <input type="checkbox"/> 地域高規格道路の位置づけあり <input type="checkbox"/> 当該路線が新たに拠点都市間を高規格幹線道路で連絡するルートを構成する（A'路線としての位置づけがある場合） <input type="checkbox"/> 当該路線が隣接した日常活動圏中心都市間を最短時間で連絡する路線を構成する <input type="checkbox"/> 現道等における交通不能区間を解消する <input type="checkbox"/> 現道等における大型車のすれ違い困難区間を解消する <input checked="" type="checkbox"/> 日常活動圏の中心都市へのアクセス向上が見込まれる	
	個性ある 地域の形成	<input type="checkbox"/> 鉄道や河川等により一體的の発展が阻害されている地区を解消する <input checked="" type="checkbox"/> 拠点開発プロジェクト、地域連携プロジェクト、大規模イベントを支援する <input checked="" type="checkbox"/> 主要な観光地へのアクセス向上が期待される <input type="checkbox"/> 新規整備の公共交通施設へ直結する道路である	沖縄県庁（那覇市）と小郡工業団地の間の旅行時間（混雑時） ・現況（国道329号）：約47分 ・将来（完成供用）：約36分【約11分短縮】
	2. 暮らし	<input type="checkbox"/> 自転車交通量が500台/日以上、自動車交通量が1,000台/12h以上、歩行者交通量が500人/日以上の全てに該当する区間ににおいて、自転車利用空間を整備することにより、当該区間の歩行者・自転車の通行の快適・安全性の向上が期待できる <input type="checkbox"/> 交通バリアフリー法における道路特定事業に位置付けがある。または、交通バリアフリー法に基づく重点整備地区における特定経路を形成する区間が新たにバリアフリー化される	
	無電柱化に よる美しい 町並みの形成	<input type="checkbox"/> 対象区間が電線類地中化5ヶ年計画に位置づけ有り <input type="checkbox"/> 市街地又は歴史景観地区（歴史的風土特別保存区域及び重要伝統的建造物保存地区）等の幹線道路において新たに無電柱化を達成する	
	安全で 安心できる くらしの確保	<input type="checkbox"/> 三次医療施設へのアクセス向上が見込まれる	

3. 安全	安全な生活環境の確保	<p><input type="checkbox"/> 現道等に死傷事故率が500件/億台キロ以上である区間が存する場合において、交通量の減少、歩道の設置又は線形不良区間の解消等により、当該区間の安全性の向上が期待できる</p> <p><input type="checkbox"/> 当該区間の自動車交通量が1,000台/12h以上（当該区間が通学路である場合は500台/12h以上）かつ歩行者交通量100人/日以上（当該区間が通学路である場合は学童、園児が40人/日以上）の場合は歩行者交通量500人/日以上の場において、歩道が無い又は狭小な区間に歩道が設置される</p>
	災害への備え	<p><input type="checkbox"/> 近隣市へのルートが1つしかなく、災害による1～2箇所の道路で遮断で孤立化する集落を解消する</p> <p><input type="checkbox"/> 対象区間が、都道府県地域防災計画、緊急輸送道路ネットワーク計画又は地震対策緊急整備事業計画に位置づけがある、又は地震防災緊急事業五年計画に位置づけのある路線（以下「緊急輸送道路」とい）として位置づけあり</p> <p>■ 緊急輸送道路が通行止になった場合に大幅な迂回を強いられる区間の代替路線を形成する</p> <p>並行する国道329号は第2次緊急輸送道路に位置づけられており、西原バイパスは迂回路としての機能を期待される。</p> <p><input type="checkbox"/> 並行する高速ネットワークの代替路線として機能する（A'路線としての位置づけがある場合）</p> <p><input type="checkbox"/> 現道等の防災点検又は震災点検要対策箇所もしくは架替の必要のある老朽橋梁における通行規制等が解消される</p> <p><input type="checkbox"/> 現道等の事前通行規制区間、特殊通行規制区間又は冬期交通障害区間を解消する</p>
4. 環境	地球環境の保全	<p>● 対象道路の整備により削減される自動車からのCO2排出量</p> <p>CO2排出削減量：約5.1千t-CO2/年（沖縄県全体） (整備なし1439.5千t-CO2/年-整備あり1434.4千t-CO2/年)</p>
	生活環境の改善・保全	<p>（推計結果） 評価対象区間（現道/並行区間等）：国道329号、県道那覇北中城線 排出削減量：13.0t/年、排出削減率：55%削減 (整備なし1.23t/年-整備あり10.5t/年)</p> <p>（推計結果） 評価対象区間（現道/並行区間等）：国道329号、県道那覇北中城線 排出削減量：0.75t/年、排出削減率：56%削減 (整備なし1.33t/年-整備あり0.58t/年)</p>
	● 現道等における自動車からのNO2排出削減率	
	● 現道等における自動車からのSPM排出削減率	
	<input type="checkbox"/> 現道等で騒音レベルが夜間要請限度を超過している区間について、新たに要請限度を下回ることが期待される区間がある	
	<input type="checkbox"/> その他、環境や景観上の効果が期待される	
5. その他	他のプロジェクトとの関係	<p>■ 関連する大規模道路事業と一体的に整備する必要あり</p> <p>西原バイパスの南端は現道の国道329号に合流しないため、連続する与那原バイパスとの一体的な整備が求められている。</p>
	<input type="checkbox"/> 他機関との連携プログラムに位置づけられている	
	その他	<input type="checkbox"/> その他、対象地域や事業に固有の事情等、以上の項目に属さない効果が見込まれる

費用便益分析の結果

路線名	事業名	事業延長	事業種別	現拡・BPの別
一般国道329号	西原バイパス	L=3.6 km	二次改築	BP

計画交通量 (台/日)	車線数	事業主体
33,200	4	沖縄総合事務局

① 費 用

	事 業 費	維持修繕費	更新費	合 計
基 準 年	令和5年度			
単純合計	132 億円	65 億円		197 億円
うち残事業分	126 億円	65 億円		191 億円
基準年における 現在価値 (C)	110 億円	21 億円		132 億円
うち残事業分	104 億円	21 億円		126 億円

② 便 益

	走行時間 短縮便益	走行経費 短縮便益	交通事故 減少便益	合 計
基 準 年	令和5年度			
供 用 年	令和13年度			
単年便益 (初年便益)	42 億円	4.1 億円	1.6 億円	48 億円
基準年における 現在価値 (B)	669 億円	66 億円	25 億円	760 億円
うち残事業分	669 億円	66 億円	25 億円	760 億円

③ 結 果

費用便益比（事業全体）	5.8
経済的純現在価値（事業全体）	628億円
経済的内部收益率（事業全体）	19.9%
費用便益比（残事業）	6.0
経済的純現在価値（残事業）	634億円
経済的内部收益率（残事業）	21.2%

注) 費用及び便益の合計は、表示桁数の関係で計算値と一致しないことがある。

④ 感 度 分 析

【事業全体】

変動要因	基準値	変動ケース	費用便益比 (B/C)
交通量	33,200	±10%	4.6～7.0
事業費	132億円	±10%	5.4～6.3
事業期間	10年間	±20%	5.6～5.8

【残事業】

変動要因	基準値	変動ケース	費用便益比 (B/C)
交通量	33,200	±10%	4.8～7.3
事業費	126億円	±10%	5.6～6.7
事業期間	7年間	±20%	5.9～6.1

交通状況の変化

様式－3①

事業名：一般国道329号 西原バイパス（事業全体・残事業）

（推計時点 R22年）

			整備なし(A)	整備あり(B)
①新設・改築道路 [西原バイパス： 3.6km]	交通量	[台/日]		33,200
	走行時間	[分]		4.1
	走行時間費用	[億円/年]		24
②主な周辺道路	現道(国道329号) ：5.0km	交通量	[台/日]	32,200
		走行時間	[分]	11
		走行時間費用	[億円/年]	68
	那覇北中城線 ：3.6km	交通量	[台/日]	18,200
		走行時間	[分]	8.1
		走行時間費用	[億円/年]	24
		交通量	[台/日]	
		走行時間	[分]	
		走行時間費用	[億円/年]	
		交通量	[台/日]	
		走行時間	[分]	
		走行時間費用	[億円/年]	
		交通量	[台/日]	
		走行時間	[分]	
		走行時間費用	[億円/年]	
③その他道路合計 延長：1,375.1km	走行時間費用	[億円/年]	6,018	5,998

			走行時間費用 整備なし(A)	走行時間費用 整備あり(B)	走行時間短縮便益 (A - B)
合計：1,387.3km	走行時間短縮便益	[億円/年]	6,111	6,067	44

(2) 図面 (①、②に該当する道路を明示すること)



費用便益分析の条件

事業名：一般国道329号 西原バイパス

(2)

項目		チェック欄
算出マニュアル	費用便益分析マニュアル (令和4年2月 国土交通省 道路局 都市局)	<input checked="" type="checkbox"/>
	その他	<input type="checkbox"/>
分析の基本的事項	分析対象期間	50年
	社会的割引率	4%
	基準年次	令和5年
交通流の推計	1時点のみ推計	<input checked="" type="checkbox"/>
	複数時点での推計	<input type="checkbox"/>
	整備の有無それぞれで交通流を推計	<input checked="" type="checkbox"/>
	整備の有無のいずれかのみ推計	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
	いずれかのみの推計の場合	いずれかのみの推計とした理由を記載
	道路交通センサスをベースとした自動車OD表 (三段階推定法)	<input checked="" type="checkbox"/> (H27センサス)
	パーソントリップ調査をベースとした自動車OD表 (四段階推定法)	<input type="checkbox"/>
	その他()	<input type="checkbox"/>
	無	<input checked="" type="checkbox"/>
	有	<input type="checkbox"/>
開発交通量の考慮	有の場合のみ	考慮した開発交通量(トリップ数)
		()台トリップ/日 考慮した理由を記載
配分交通量の推計手法	Q-V式を用いた配分	<input type="checkbox"/>
	転換率式を用いた配分	<input type="checkbox"/>
	Q-V式と転換率式の併用による配分	<input checked="" type="checkbox"/>
	均衡配分(リンクパフォーマンス関数を用いた配分)	<input type="checkbox"/>
	簡易手法	<input type="checkbox"/>
	簡易手法の採択理由	小規模事業である
		山間部海岸部で併行道路が少ない
		その他()
	簡易手法の考え方(将来交通量の設定方法等)	
	その他()	
速度設定の考え方	各回の配分終了時の速度を交通量でウェイト付けて設定	
	採用理由を記載	
	交通量が、交通容量($Q_{max} \sim Q_{min}$)以上の路線、交通容量程度の路線等が混在した配分結果となっているため、費用便益算出においては、速度差の生ずる「加重平均速度」を用いた。	
	最終配分の速度	
	採用理由を記載	
その他()		<input type="checkbox"/>

(3)

項目		チェック欄
便益の算定	休日交通の影響	考慮しない <input checked="" type="checkbox"/>
		考慮する <input type="checkbox"/>
		考慮する場合のみ
		面的に考慮 <input type="checkbox"/>
		対象路線のみ考慮 <input type="checkbox"/>
		採用した休日係数 <input type="checkbox"/> () %
		休日係数を考慮した理由および採用した休日係数の考え方を記載
	災害等による通行止めの影響	考慮しない <input checked="" type="checkbox"/>
		考慮する <input type="checkbox"/>
		考慮する場合のみ
		採用した通行止め日数 <input type="checkbox"/> () 日
		採用した通行止め日数の考え方を記載
		とり止め交通を考慮する <input type="checkbox"/>
		とり止め交通を考慮しない場合はその理由、考慮した場合はその考え方を記載
	冬期交通の影響	考慮しない <input checked="" type="checkbox"/>
		考慮する <input type="checkbox"/>
		考慮する場合のみ
		採用した冬期日数 <input type="checkbox"/> () 日
		採用した冬期日数の考え方を記載
		冬期の走行速度と交通容量の関係 <input type="checkbox"/>
		設定の考え方を記載
	交通流推計の時点以外の便益の算定	ブロック別・車種別走行台キロの伸び率による設定 <input checked="" type="checkbox"/>
		その他 () <input type="checkbox"/>
	車種別時間価値原単位	費用便益分析マニュアルの値を使用 <input checked="" type="checkbox"/>
		独自に設定した値を使用 <input type="checkbox"/>
	車種別走行経費原単位	費用便益分析マニュアルの値を使用 <input checked="" type="checkbox"/>
		独自に設定した値を使用 <input type="checkbox"/>
	交通事故減少便益算定	中央分離帯の有無を考慮 <input checked="" type="checkbox"/>
		中央分離帯の有無を考慮しない <input type="checkbox"/>
	走行時間短縮・走行経費減少・交通事故減少以外の便益	考慮しない <input checked="" type="checkbox"/>
		考慮する <input type="checkbox"/>
		(考慮の場合、算出根拠を添付すること)
その他		

事業名：一般国道329号 西原バイパス

(4)

項目		チェック欄
費用の算定	事業費	<p>詳細事業計画による値を採用 <input type="checkbox"/></p> <p>標準投資パターンを採用 <input checked="" type="checkbox"/></p> <p>その他(概略事業計画による値を採用) <input type="checkbox"/></p>
	維持管理費	<p>維持管理費の設定根拠を記載</p> <p>当該道路周辺地域における直轄国道の維持管理等に要する実績経費に基づき算出</p>
	更新費	<p>更新費の設定根拠を記載</p> <p>単区間の評価であり供用後50年間の便益を計上しているため、更新費用は考慮しない</p>
	雪寒費	<p>積雪地域または寒冷地域である <input type="checkbox"/></p>
	当該道路整備が 行われない場合 の費用	<p>考慮しない <input checked="" type="checkbox"/></p> <p>考慮する <input type="checkbox"/></p>
		<p>事業費を考慮 <input type="checkbox"/></p>
		<p>維持管理費を考慮 <input type="checkbox"/></p>
		<p>当該道路整備が行われない場合の費用を考慮した理由及び考え方を記載(対策内容、費用等)</p>
その他		

費用の現在価値算定表(事業全体)

箇所名: 一般国道329号 西原バイパス 基準年: R5				維持管理費の単純単価の算出(消費税相当額含む)			
年 次	年度	割戻率	GDP テフレータ	工事費(億円)		維持管理費(億円)	
				単純価値	現在価値	単純価値	現在価値
-10年目	R3	1.0816	101.8	0.91	0.98		
-9年目	R4	1.0400	101.8	0.91	0.95		
-8年目	R5	1.0000	101.8	4.0	4.0		
-7年目	R6	0.9615	101.8	5.1	4.9		
-6年目	R7	0.9246	101.8	15	14		
-5年目	R8	0.8890	101.8	22	20		
-4年目	R9	0.8548	101.8	25	21		
-3年目	R10	0.8219	101.8	26	21		
-2年目	R11	0.7903	101.8	25	19		
-1年目	R12	0.7599	101.8	8.7	6.6		
供用開始年次	R13	0.7307	101.8			1.3	0.95
1年目	R14	0.7026	101.8			1.3	0.91
2年目	R15	0.6756	101.8			1.3	0.88
3年目	R16	0.6496	101.8			1.3	0.84
4年目	R17	0.6246	101.8			1.3	0.81
5年目	R18	0.6006	101.8			1.3	0.78
6年目	R19	0.5775	101.8			1.3	0.75
7年目	R20	0.5553	101.8			1.3	0.72
8年目	R21	0.5339	101.8			1.3	0.69
9年目	R22	0.5134	101.8			1.3	0.67
10年目	R23	0.4936	101.8			1.3	0.64
11年目	R24	0.4746	101.8			1.3	0.62
12年目	R25	0.4564	101.8			1.3	0.59
13年目	R26	0.4388	101.8			1.3	0.57
14年目	R27	0.4220	101.8			1.3	0.55
15年目	R28	0.4057	101.8			1.3	0.53
16年目	R29	0.3901	101.8			1.3	0.51
17年目	R30	0.3751	101.8			1.3	0.49
18年目	R31	0.3607	101.8			1.3	0.47
19年目	R32	0.3468	101.8			1.3	0.45
20年目	R33	0.3335	101.8			1.3	0.43
21年目	R34	0.3207	101.8			1.3	0.42
22年目	R35	0.3083	101.8			1.3	0.40
23年目	R36	0.2965	101.8			1.3	0.39
24年目	R37	0.2851	101.8			1.3	0.37
25年目	R38	0.2741	101.8			1.3	0.36
26年目	R39	0.2636	101.8			1.3	0.34
27年目	R40	0.2534	101.8			1.3	0.33
28年目	R41	0.2437	101.8			1.3	0.32
29年目	R42	0.2343	101.8			1.3	0.30
30年目	R43	0.2253	101.8			1.3	0.29
31年目	R44	0.2166	101.8			1.3	0.28
32年目	R45	0.2083	101.8			1.3	0.27
33年目	R46	0.2003	101.8			1.3	0.26
34年目	R47	0.1926	101.8			1.3	0.25
35年目	R48	0.1852	101.8			1.3	0.24
36年目	R49	0.1780	101.8			1.3	0.23
37年目	R50	0.1712	101.8			1.3	0.22
38年目	R51	0.1646	101.8			1.3	0.21
39年目	R52	0.1583	101.8			1.3	0.21
40年目	R53	0.1522	101.8			1.3	0.20
41年目	R54	0.1463	101.8			1.3	0.19
42年目	R55	0.1407	101.8			1.3	0.18
43年目	R56	0.1353	101.8			1.3	0.18
44年目	R57	0.1301	101.8			1.3	0.17
45年目	R58	0.1251	101.8			1.3	0.16
46年目	R59	0.1203	101.8			1.3	0.16
47年目	R60	0.1157	101.8			1.3	0.15
48年目	R61	0.1112	101.8			1.3	0.14
49年目	R62	0.1069	101.8	-21	-2.3	1.3	0.14
合 計				111	110	65	21
単純事業費計				132		65	

注1) 事業費の投資パターンは、費用便益分析の計算条件として設定した標準的な投資パターンであり、

必ずしも全体の予算制約等を踏まえたものではない。

このため、毎年度の予算の状況や、用地・工事の進捗により、実際の事業展開とは異なることがある。

注2) 評価対象期間最終年において、用地残存価値(割引後の用地費)を控除している。

費用の現在価値算定表(残事業)

箇所名: 一般国道329号 西原バイパス 基準年: R5				維持管理費の単純単価の算出(消費税相当額含む)			
年 次	年度	割戻率	GDP テフレータ	工事費(億円)		維持管理費(億円)	
				単純価値	現在価値	単純価値	現在価値
-8年目	R5	1.0000	101.8				
-7年目	R6	0.9615	101.8	5.1	4.9		
-6年目	R7	0.9246	101.8	15	14		
-5年目	R8	0.8890	101.8	22	20		
-4年目	R9	0.8548	101.8	25	21		
-3年目	R10	0.8219	101.8	26	21		
-2年目	R11	0.7903	101.8	25	19		
-1年目	R12	0.7599	101.8	8.7	6.6		
供用開始年次						1.3	0.95
1年目	R13	0.7307	101.8			1.3	0.91
2年目	R14	0.7026	101.8			1.3	0.88
3年目	R15	0.6756	101.8			1.3	0.84
4年目	R16	0.6496	101.8			1.3	0.81
5年目	R17	0.6246	101.8			1.3	0.78
6年目	R18	0.6006	101.8			1.3	0.75
7年目	R19	0.5775	101.8			1.3	0.72
8年目	R20	0.5553	101.8			1.3	0.69
9年目	R21	0.5339	101.8			1.3	0.67
10年目	R22	0.5134	101.8			1.3	0.64
11年目	R23	0.4936	101.8			1.3	0.62
12年目	R24	0.4746	101.8			1.3	0.59
13年目	R25	0.4564	101.8			1.3	0.57
14年目	R26	0.4388	101.8			1.3	0.55
15年目	R27	0.4220	101.8			1.3	0.53
16年目	R28	0.4057	101.8			1.3	0.51
17年目	R29	0.3901	101.8			1.3	0.49
18年目	R30	0.3751	101.8			1.3	0.47
19年目	R31	0.3607	101.8			1.3	0.45
20年目	R32	0.3468	101.8			1.3	0.43
21年目	R33	0.3335	101.8			1.3	0.42
22年目	R34	0.3207	101.8			1.3	0.40
23年目	R35	0.3083	101.8			1.3	0.39
24年目	R36	0.2965	101.8			1.3	0.37
25年目	R37	0.2851	101.8			1.3	0.36
26年目	R38	0.2741	101.8			1.3	0.34
27年目	R39	0.2636	101.8			1.3	0.33
28年目	R40	0.2534	101.8			1.3	0.32
29年目	R41	0.2437	101.8			1.3	0.30
30年目	R42	0.2343	101.8			1.3	0.29
31年目	R43	0.2253	101.8			1.3	0.28
32年目	R44	0.2166	101.8			1.3	0.27
33年目	R45	0.2083	101.8			1.3	0.26
34年目	R46	0.2003	101.8			1.3	0.25
35年目	R47	0.1926	101.8			1.3	0.24
36年目	R48	0.1852	101.8			1.3	0.23
37年目	R49	0.1780	101.8			1.3	0.22
38年目	R50	0.1712	101.8			1.3	0.21
39年目	R51	0.1646	101.8			1.3	0.20
40年目	R52	0.1583	101.8			1.3	0.19
41年目	R53	0.1522	101.8			1.3	0.18
42年目	R54	0.1463	101.8			1.3	0.17
43年目	R55	0.1407	101.8			1.3	0.16
44年目	R56	0.1353	101.8			1.3	0.15
45年目	R57	0.1301	101.8			1.3	0.14
46年目	R58	0.1251	101.8	-21	-2.3	1.3	0.14
47年目	R59	0.1203	101.8			1.3	
48年目	R60	0.1157	101.8			1.3	
49年目	R61	0.1112	101.8			1.3	
	R62	0.1069	101.8			1.3	
合 計				105	104	65	21
単純事業費計				126	65		

注1) 事業費の投資パターンは、費用便益分析の計算条件として設定した標準的な投資パターンであり、

必ずしも全体の予算制約等を踏まえたものではない。

このため、毎年度の予算の状況や、用地・工事の進捗により、実際の事業展開とは異なることがある。

注2) 評価対象期間最終年において、用地残存価値(割引後の用地費)を控除している。

様式一五

便益の現在価値算定表(事業全体・残事業)

箇所名:一般国道329号 西原バイパス

年次	年度 (基準年) R5	総走行台キロの年次別伸び率 (沖縄ブロック)				割引率 (A)	走行時間短縮便益 (億円)					走行経費減少便益 (億円)					交通事故減少便益 (億円)		合計 (億円)		
		乗用車類	小型貨物車	普通貨物車	全車		乗用車類	小型貨物	普通貨物	① 計	現在価値 ①×(A)	乗用車類	小型貨物	普通貨物	② 計	現在価値 ②×(A)	③	現在価値 ③×(A)	費用合計 ①～③	現在価値 割引率4%	
供用開始年次	R13	1.00449	0.99661	1.00992	1.00358	0.7307	101.8	33	6.0	4.0	42	31	2.9	0.62	0.67	4.1	3.0	1.6	1.1	48	35
1年目	R14	1.00447	0.99660	1.00982	1.00357	0.7026	101.8	33	6.0	4.0	43	30	2.9	0.62	0.68	4.2	2.9	1.6	1.1	48	34
2年目	R15	1.00445	0.99658	1.00973	1.00356	0.6756	101.8	33	6.0	4.0	43	29	2.9	0.61	0.68	4.2	2.8	1.6	1.1	49	33
3年目	R16	1.00443	0.99657	1.00963	1.00354	0.6496	101.8	33	6.0	4.1	43	28	2.9	0.61	0.69	4.2	2.7	1.6	1.0	49	32
4年目	R17	1.00441	0.99656	1.00954	1.00353	0.6246	101.8	33	5.9	4.1	43	27	2.9	0.61	0.70	4.2	2.6	1.6	0.99	49	31
5年目	R18	1.00439	0.99655	1.00945	1.00352	0.6006	101.8	33	5.9	4.2	43	26	2.9	0.61	0.70	4.2	2.5	1.6	0.96	49	30
6年目	R19	1.00437	0.99654	1.00936	1.00351	0.5775	101.8	33	5.9	4.2	43	25	2.9	0.61	0.71	4.2	2.5	1.6	0.93	49	28
7年目	R20	1.00435	0.99653	1.00927	1.00349	0.5553	101.8	34	5.9	4.2	44	24	2.9	0.60	0.72	4.3	2.4	1.6	0.89	50	27
8年目	R21	1.00433	0.99651	1.00919	1.00348	0.5339	101.8	34	5.9	4.3	44	23	3.0	0.60	0.72	4.3	2.3	1.6	0.86	50	27
9年目	R22	0.99315	0.99337	0.99881	0.99376	0.5134	101.8	34	5.8	4.3	44	23	3.0	0.60	0.73	4.3	2.2	1.6	0.83	50	26
10年目	R23	0.99311	0.99332	0.99881	0.99372	0.4936	101.8	34	5.8	4.3	44	22	2.9	0.60	0.73	4.3	2.1	1.6	0.79	50	24
11年目	R24	0.99306	0.99328	0.99881	0.99369	0.4746	101.8	33	5.8	4.3	43	21	2.9	0.59	0.73	4.2	2.0	1.6	0.76	49	23
12年目	R25	0.99301	0.99323	0.99881	0.99364	0.4564	101.8	33	5.7	4.3	43	20	2.9	0.59	0.73	4.2	1.9	1.6	0.73	49	22
13年目	R26	0.99296	0.99319	0.99881	0.99360	0.4388	101.8	33	5.7	4.3	43	19	2.9	0.58	0.73	4.2	1.8	1.6	0.69	49	21
14年目	R27	0.99291	0.99314	0.99881	0.99356	0.4220	101.8	33	5.6	4.3	43	18	2.9	0.58	0.73	4.2	1.8	1.6	0.66	48	20
15年目	R28	0.99286	0.99309	0.99881	0.99352	0.4057	101.8	32	5.6	4.3	42	17	2.8	0.58	0.72	4.1	1.7	1.6	0.63	48	19
16年目	R29	0.99281	0.99305	0.99880	0.99348	0.3901	101.8	32	5.6	4.3	42	16	2.8	0.57	0.72	4.1	1.6	1.5	0.60	48	19
17年目	R30	0.99276	0.99300	0.99880	0.99344	0.3751	101.8	32	5.5	4.3	42	16	2.8	0.57	0.72	4.1	1.5	1.5	0.58	47	18
18年目	R31	0.99270	0.99295	0.99880	0.99339	0.3607	101.8	32	5.5	4.3	41	15	2.8	0.56	0.72	4.1	1.5	1.5	0.55	47	17
19年目	R32	0.99265	0.99290	0.99880	0.99335	0.3468	101.8	32	5.4	4.3	41	14	2.8	0.56	0.72	4.0	1.4	1.5	0.53	47	16
20年目	R33	0.99260	0.99285	0.99880	0.99330	0.3335	101.8	31	5.4	4.3	41	14	2.7	0.56	0.72	4.0	1.3	1.5	0.50	46	15
21年目	R34	0.99254	0.99280	0.99880	0.99326	0.3207	101.8	31	5.4	4.2	41	13	2.7	0.55	0.72	4.0	1.3	1.5	0.48	46	15
22年目	R35	0.99248	0.99274	0.99880	0.99321	0.3083	101.8	31	5.3	4.2	40	12	2.7	0.55	0.72	4.0	1.2	1.5	0.46	46	14
23年目	R36	0.99243	0.99269	0.99879	0.99317	0.2965	101.8	31	5.3	4.2	40	12	2.7	0.54	0.72	3.9	1.2	1.5	0.44	46	14
24年目	R37	0.99237	0.99264	0.99879	0.99312	0.2851	101.8	30	5.3	4.2	40	11	2.7	0.54	0.72	3.9	1.1	1.5	0.42	45	13
25年目	R38	0.99231	0.99258	0.99879	0.99307	0.2741	101.8	30	5.2	4.2	40	11	2.6	0.54	0.72	3.9	1.1	1.5	0.40	45	12
26年目	R39	0.99225	0.99253	0.99879	0.99302	0.2636	101.8	30	5.2	4.2	39	10	2.6	0.53	0.72	3.9	1.0	1.4	0.38	45	12
27年目	R40	0.99219	0.99247	0.99879	0.99298	0.2534	101.8	30	5.1	4.2	39	9	2.6	0.53	0.71	3.8	0.97	1.4	0.36	44	11
28年目	R41	0.99213	0.99241	0.99879	0.99293	0.2437	101.8	29	5.1	4.2	39	9	2.6	0.52	0.71	3.8	0.93	1.4	0.35	44	11
29年目	R42	0.99207	0.99235	0.99878	0.99288	0.2343	101.8	29	5.1	4.2	38	9	2.6	0.52	0.71	3.8	0.89	1.4	0.33	44	10
30年目	R43	0.99200	0.99230	0.99878	0.99282	0.2253	101.8	29	5.0	4.2	38	8	2.6	0.52	0.71	3.8	0.85	1.4	0.32	43	9.8
31年目	R44	0.99194	0.99224	0.99878	0.99277	0.2166	101.8	29	5.0	4.2	38	8	2.5	0.51	0.71	3.7	0.81	1.4	0.30	43	9.3
32年目	R45	0.99187	0.99218	0.99878	0.99272	0.2083	101.8	28	4.9	4.2	38	7	2.5	0.51	0.71	3.7	0.78	1.4	0.29	43	8.9
33年目	R46	0.99181	0.99211	0.99878	0.99267	0.2003	101.8	28	4.9	4.2	37	7	2.5	0.50	0.71	3.7	0.74	1.4	0.28	42	8.5
34年目	R47	0.99174	0.99205	0.99878	0.99261	0.1926	101.8	28	4.9	4.2	37	7	2.5	0.50	0.71	3.7	0.71	1.4	0.26	42	8.1
35年目	R48	0.99167	0.99199	0.99878	0.99256	0.1852	101.8	28	4.8	4.2	37	6	2.4	0.50	0.71	3.6	0.68	1.4	0.25	42	7.7
36年目	R49	0.99160	0.99192	0.99877	0.99250	0.1780	101.8	28	4.8	4.2	37	6	2.4	0.49	0.71	3.6	0.64	1.3	0.24	41	7.4
37年目	R50	0.99153	0.99186	0.99877	0.99244	0.1712	101.8	27	4.7	4.2	36	6	2.4	0.49	0.71	3.6	0.62	1.3	0.23	41	7.1
38年目	R51	0.99146	0.99179	0.99877	0.99239	0.1646	101.8	27	4.7	4.2	36	5	2.4	0.48	0.70	3.6	0.59	1.3	0.22	41	6.7
39年目	R52	0.99138	0.99172	0.99877	0.99233	0.1583	101.8	27	4.7	4.2	36	5	2.4	0.48	0.70	3.5	0.56	1.3	0.21	41	6.4
40年目	R53	0.99131	0.99165	0.99877	0.99227	0.1522	101.8	27	4.6	4.2	35	5	2.3	0.48	0.70	3.5	0.54	1.3	0.20	40	6.1
41年目	R54	0.99123	0.99158	0.99877	0.99221	0.1463	101.8	26	4.6	4.1	35	5	2.3	0.47	0.70	3.5	0.51	1.3	0.19	40	5.8
42年目	R55	0.99115	0.99151	0.99877	0.99215	0.1407	101.8	26	4.6	4.1	35	4	2.3	0.47	0.70	3.5	0.49	1.3	0.18	40	5.6
43年目	R56	0.99108	0.99144	0.99876	0.99209	0.1353	101.8	26	4.5	4.1	35	4	2.3	0.46	0.70	3.4	0.47	1.3	0.17	39	5.3
44年目	R57	0.99100	0.99136	0.99876	0.99202	0.1301	101.8	26	4.5	4.1	34	4	2.3	0.46	0.70	3.4	0.44	1.3	0.16	39	5.1
45年目	R58	0.99091	0.99129	0.99876	0.99196	0.1251	101.8	25	4.4	4.1	34	4	2.2	0.46	0.70	3.4	0.42	1.3	0.16	39	4.8
46年目	R59	0.99083	0.99121	0.99876	0.99189	0.1203	101.8	25	4.4	4.1	34	4	2.2	0.45	0.70	3.4	0.41	1.2	0.15	38	4.6
47年目	R60	0.99075	0.99113	0.99876	0.99183	0.1157	101.8	25	4.4	4.1	33	3	2.2</								

参考様式1

路線名	箇所名	車線数	延長
西原バイパス	西原町小那霸～中城村津霸	4	3.6

■事業費内訳(事業全体)

区分	費目	工種	単位	数量	金額 (百万円)	備考
①工事費					6,037	
	改良費				3,481	
	土工	m ³	87,400	123	切土(36,800m ³)、盛土(50,600m ³)	
	軟弱地盤改良工	m ³	456,000	2,882	路床改良工、軟弱地盤改良工	
	法面工	m ²	9,550	12	切土法面、盛土法面	
	擁壁工	式	1	67	重力式擁壁	
	排水工	m	14,740	283	道路側溝、法面側溝等	
	函渠工	m	860	114	水路・河川BOX、横断暗渠BOX	
	橋梁費				0	
	100m以上	式	0	0		
	100m未満	式	0	0		
	トンネル費				0	
	NATM	式	0	0		
	シールド	m	0	0		
	IC・JCT費				0	
	IC	箇所	0	0		
	JCT	箇所	0	0		
	舗装費				1,069	
	車道舗装	m ²	81,350	940		
	歩道舗装	m ²	28,920	129		
	付帯施設費				1,487	
	交通管理施設工	式	1	1,372	標識工、防護柵工、道路照明、共同溝等	
	遮音壁	m	0	0	-	
	付加工事費	式	1	115	磁気探査費	
②用地及補償費					4,822	
	用地費				2,109	
	宅地	m ²	5,150	215		
	田畠	m ²	81,190	983		
	山林・原野	m ²	0	0		
	その他	m ²	27,860	911	工場	
	補償費	式	1	2,713		
③間接経費					3,141	地質調査、測量、設計にかかる費用及び予備費
全体事業費					14,000	

【単価等について】

○工事費算出にあたっては、土木工事標準歩掛及び近接事業箇所の実績単価を使用

○用地補償費算出にあたっては、近接事業箇所の直近実績単価を使用

参考様式1

路線名	箇所名	車線数	延長
西原バイパス	西原町小那霸～中城村津霸	4	3.6

■事業費内訳(残事業)

区分	費目	工種	単位	数量	金額 (百万円)	備考
①工事費					6,037	
	改良費				3,481	
	土工	m ³	87,400	123	切土(36,800m ³)、盛土(50,600m ³)	
	軟弱地盤改良工	m ³	456,000	2,882	路床改良工、軟弱地盤改良工	
	法面工	m ²	9,550	12	切土法面、盛土法面	
	擁壁工	式	1	67	重力式擁壁	
	排水工	m	14,740	283	道路側溝、法面側溝等	
	函渠工	m	860	114	水路・河川BOX、横断暗渠BOX	
	橋梁費				0	
	100m以上	式	0	0		
	100m未満	式	0	0		
	トンネル費				0	
	NATM	式	0	0		
	シールド	m	0	0		
	IC・JCT費				0	
	IC	箇所	0	0		
	JCT	箇所	0	0		
	舗装費				1,069	
	車道舗装	m ²	81,350	940		
	歩道舗装	m ²	28,920	129		
	付帯施設費				1,487	
	交通管理施設工	式	1	1,372	標識工、防護柵工、道路照明、共同溝等	
	遮音壁	m	0	0	-	
	付加工事費	式	1	115	磁気探査費	
②用地及補償費					4,822	
	用地費				2,109	
	宅地	m ²	5,150	215		
	田畠	m ²	81,190	983		
	山林・原野	m ²	0	0		
	その他	m ²	27,860	911	工場	
	補償費	式	1	2,713		
③間接経費					2,501	地質調査、測量、設計にかかる費用及び予備費
全体事業費					13,360	

【単価等について】

○工事費算出にあたっては、土木工事標準歩掛及び近接事業箇所の実績単価を使用

○用地補償費算出にあたっては、近接事業箇所の直近実績単価を使用

全事業／残事業

路線名	箇所名	車線数	延長
西原バイパス	西原町小那霸～中城村津霸	4	3.6km

■維持管理費内訳

区分	単位	数量	金額 (百万円)	備考
維持費	km	3.6	1,450	巡回、清掃、除草、除雪等
修繕費	式	1	5,700	路面補修、構造物の点検・補修等
その他	式			
維持管理費合計			7,150	

■更新費内訳

区分	単位	数量	金額 (百万円)	備考
更新費	式			構造物の更新
更新費合計				

【単価等について】

○維持管理費は、当該道路周辺地域における直轄国道の維持管理等に要する実績経費に基づき算出。

○更新費は、更新計画やこれまでの類似実績等から算出。